

平成 20 年 5 月 22 日発行

しのはらの風 20-1号

小淵沢町篠原区情報紙
発行人; 区長 松井 皎
編集; 藤代 富美男

平成 20 年度の役員体制が難産の上、誕生・発足！！

新年度の役員体制が臨時総会まで行って、ようやくのスタートです。この間、篠原区と分館規約の一部改正が定期総会で確認され、早速、全区民に配布されました。この一年、区の運営に責任者として、だれにもオープンな活動を通して、活力ある篠原区をつくるために微力ながら努力してまいりたいと考えております。是非とも、みなさまのご指導とご協力、よろしくお願いたします。 (区長 松井)

この「しのはらの風」は 2 年前に区の総会で取り上げられて名前も決まり発行された区民のための情報紙です。平成 20 年度の第 1 号として今回から可能な限り月 1 回の定期発行を目指します。皆さんの情報をどうぞどしどしお寄せください。

*新役員が決まりました			
区 長; 松井 皎	5282	4 組; 柴田 広三	5617
副 区長; 藤代 富美男	3483	5 組; 小林 努	3556
分館主事; 浦部 道幸	4171	<保健福祉推進委員>	
1 組組長; 日向 敏弘 (体育副)	2562	1 組; 市川 健一	4155
2 組組長; 古家 徹男 (育成)	2085	2 組; 石渡 英行	6560
3 組組長; 島岡 幸雄 (体育)	3065	3 組; 大原 幸夫	4023
4 組組長; 菊島 信 (文化)	6108	4 組; 窪川 清一	5511
5 組組長; 浦部 道幸 (分館主事)	4171	◎5 組; 手塚 秀宗	4047
<地域環境委員>		(長寿者クラブ)	
1 組; 渡辺 真喜子	2495	高岡 悦津 (4 組)	3449
◎2 組; 溝呂木 忠	4750	(子供クラブ)	
3 組; 和田 勉	3202	高榮 尚子 (5 組)	5026

* 地域環境委員 = 環境部

保健福祉推進委員 = 福祉部

◎印は委員長

以上のメンバーで協力して進めてまいりますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

<景観 (環境) はみんなで創る財産です>

<篠原区の現況をお知らせします。(平成 20 年 5 月 1 日現在) >

	区加入	未加入	計	区加入率
世帯数	128 世帯	159 世帯	287 世帯	44.6%
人口	336 人	292 人	628 人	

この他に別荘の方がたくさん利用しています。篠原区では定住世帯の区への加入を促進しています。道路（赤道）の維持及び補修、街灯の設置及び電球の交換、清掃活動等を区民の労働奉仕と区費からの拠出で行っています。みんなで気持ちをひとつにして住みやすい地域を創りたいと思っています。近所に未加入世帯がありましたら是非一声かけてください。説明は組長や区の役員が出向きます。別荘区民の制度もあります。ゴミの問題だけでなく地域の活動に積極的に参加したいと思う人もいます。現にそのような方が数名参加しています。よろしくをお願いします。

<行事のお知らせ>

5月25日(日)

3組では赤道(アカミチ)の補修作業を行います。和光さんの向かいに入る赤道がえぐれて車の走行に支障が出てきているようです。砕石は2tトラック3台分を用意しました。組長さんを中心に朝早くから労働奉仕をするということです。大勢の皆さんの参加をお願いします。そのほうが早く済みますから。

6月1日(日)

小淵沢町内分館対抗球技大会が小淵沢総合スポーツセンターグラウンドを中心に開催されます。篠原区からは「ママさんバレー」、「ゲートボール」、「グランドゴルフ」の3種目にエントリーしています。ママさんバレーチームはユニフォームも凛々しく活躍が期待されます。ゲートボールチームは理論的(屁理屈?)ゲーム展開であるいは期待できるかも。グランドゴルフチームは急遽集めたメンバーでブービーメーカー期待(?)かもね。皆さん怪我の無いように気をつけて頑張ってください。

6月8日(日)

篠原区の環境美化運動の日です。私たちみんなが生活する環境と景観を創り守っていくために皆さんの熱い思いと腕力をお願いします。腰を痛めないように充分気をつけてください。もちろん怪我の無いようにお願いします。組によっては負担がやや多いところもあるようですが出来るだけ公平になるように情報交換をしながら柔軟な対応を今後はとっていきたいと思います。皆さんの良きアイデアをください。

先日小淵沢図書館で昭和 55 年に発行された小淵沢町民大学高齢者学級編による「こぶちさわ昔ばなし」という本を見つけました。篠原に関係したものがありましたので関係者にご了解を頂いてここに掲載します。今回は現在「和食処 高岡」を営んでいる高岡さんの先代の文章です。開拓入植時の思い出が綴られています。

(句読点等原文のままです)

「墓郷を拓く」 篠原 高岡 実太郎

生まれた古里を離れ、生家と別れ、新しく自分の生きる郷里を求めて、八ヶ岳山麓へ入植定住したのは、終戦後間もない九月であった。住む家は掘っ立て小屋、萱でかこみ土間へ石ころを並べてこれが火炉である。終日火をたいて夜中の保温にしていた。萱を敷き農家からわけて戴いた藁を重ねうすい布団を敷いて寝る。寝床、兼、居間、兼、食事場、一万年前の古代先住民の生活そのまゝである。食料不足難の時、野草でも食べられるものは総て採って来て食べた。ある親しくなったお百姓さんが「この頃田圃の土手の草は開拓の人にとられてきれいさっぱりだ。」といわれた事があった。雑木を伐り除き荒地を一鍬一鍬掘り起こして畑を造った。十坪二十坪と黒土の畑が造られた喜び、早速菜種を蒔く、南瓜を蒔く、ジャガ芋を蒔く、黒土の畑が一坪造られれば直ぐ種を蒔く、妻は時折中巨摩の生家へ食糧の援助を受けに行くのだった。実際に栄養不良の身体であるが、牛馬も野草を食べてあれだけの働きをしていると思って気力一杯で働いた。海拔千メートル、火山灰土の、やせ地に農業生活を営む年を省みる日もあった。しかしこの地が自分の墓郷とする地であると頑張ってきた。こうしてすでに三十余年過ぎた。私も老令になった。野草で育てた子供等も成人してくれた。その三十年間、開拓の苦難に負けて下山した者もあった。一緒に入植した人、すでに故人となったもある。そして部落の墓地も造られて開拓祖先として安らかに永眠している。開拓民は第二代を迎えている。しかしこの入植初代の苦悩困難の生活は忘れられていくであろう。私はこの入植開拓当時の思い出を書き残して次代孫々に伝え祖先の生活をいつ迄も忘れない様に願うのである。

この他にも篠原関係がありますので折に触れて掲載していきたいと思います。また小淵沢町内の昔のことや生活のことなどが書かれたものもあります。興味深いものもありますので併せて掲載できたらと考えています。

* 「しのはらの風」では区民の皆様からの情報をお待ちしています。みんなで作る情報紙をモットーにしていきますのでどしどしお寄せください。情報は副区長の藤代までお願いします。まずは電話をください。Tel36-3483

<篠原区の年間行事予定>

月	日	行事	備考
5月	25日	3組アカミチ補修	
6月	1日	分館対抗球技大会	ママさんバレー・ゲートボール・グランドゴルフ
	8日	環境美化運動	景観創造 外部からのお客様を迎えよう
8月	31日	防災訓練	備えあれば憂いなし
9月	7日	環境美化運動	景観創造 枯葉にはチョット早いけど
	14日	開拓祭・敬老の日	老いも若きも昔の苦勞を味わい未来に向かう
10月	未定	井戸端喫茶	3年目の定着 みんなで盛り上げよう
	19日	町民体育祭	区の名譽を担って
11月	未定	区内組対抗球技大会	みんなで参加しよう
12月	6日	クリスマス会	みんなで祝いましょう
1月	11日頃	どんど焼き	紅蓮の炎と煙に新年の祈りを乗せて

その他に昨年度の予算で改修した公民館のトイレについて、狭くて使い勝手が悪いとの指摘がありました。現在施工業者と打ち合わせをしています。近日内に少しでも使いやすくなるように手直しする予定です。

<身近なトピックス>

3組の菅野さんの長女で甲府湯田高校音楽科3年生の菅野芽生さんが5月6日に行われたびわ湖国際フルートコンクールのアドバンス部門(学生)でみごと優勝しました。3年前には全日本学生音楽コンクールフルート部門中学生の部で優勝しています。(5月7日付山梨日日新聞に掲載)芽生さんは小学4年からフルートを習い始め数々の大会で演奏していますが、昨年には地元のアルソア本社のホールで行われた演奏会で師匠の飯島さんから「とても自分の同じ年ではこんな難しい曲は演奏できなかった。」といわれるほどのフルーティストです。将来は世界的に活躍するソリストになってくれるものと期待されています。地元のほんとに近所からこんな人が出てくるなんて嬉しいですね。みんなで応援したいものです。